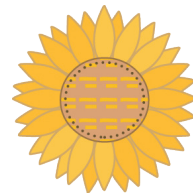


ひまわり



えんげ 嚥下障害と誤嚥性肺炎

内科 大瀬 寛高

ご存知でした？ 嚥下は「ツバメ」に由来します

えんげ
嚥下は、日常会話ではあまり使わない言葉ですが、飲み下す、飲み込むなどの意味があります。嚥下の「嚥」は、「口」と「燕」を組み合わせた不思議な字です。これは、天敵を避け、人家の軒先に巣作りする習性のある燕の子育て—ヒナが大きく口を開けてえさを貰い、ゴクンと飲み下す様子—を見て古代の中国で作られた字だそうです。英語で燕を表すswallowには、飲み込むという意味もありますが、これも燕の子育ての観察に由来するそうです。洋の東西で、古人が同じ感性で発想した言葉が、現在まで使われているのですね。

嚥下障害と 誤嚥性肺炎について

摂食・嚥下は、何をどう食べるかを判断する先行期、咀嚼により食塊を形成する準備期、食塊を、口腔から咽頭に送る口腔期、嚥下反射で食道に送る咽頭期、食道から胃に送る食道期の5期に分けられます。このいずれが障害されても嚥下障害が起こります。原因疾患で多いのは、脳血管障害、神経や筋疾患などで（図1）、年代では60歳以上が約80%を占めると報告されています。

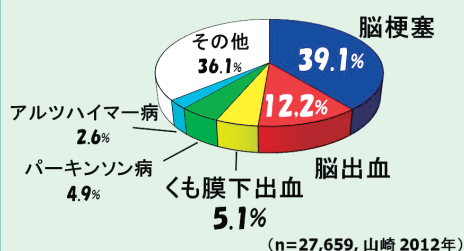


図1 誤嚥性肺炎の原因疾患

が、気道へ流入することです（図2）。誤嚥の際、通常は咳で気道流入物を排出しますが、嚥下反射

が低下した人の多くは咳反射も低下し、肺炎を起こしやすくなります。食事の際の明らかな誤嚥（顕性誤嚥）だけでなく、

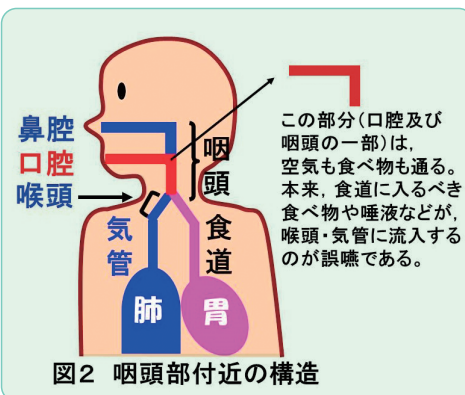


図2 咽頭部付近の構造

本人や周囲も気付かない不顕性誤嚥、たとえば睡眠中に唾液を誤嚥するだけでも肺炎が起こり得ます。高齢者肺炎の多くが誤嚥性とも報告されています（図3）。

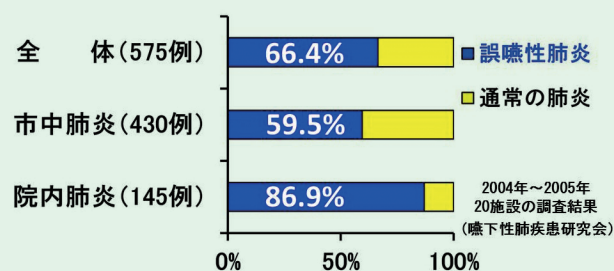


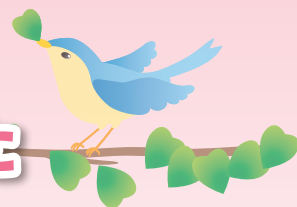
図3 高齢者肺炎に占める誤嚥性肺炎の割合

嚥下障害を疑ったら、 専門医療機関にご相談ください

嚥下障害が疑われる場合、嚥下機能を評価し、原因を特定する必要があります。また、薬物療法や嚥下機能を高めるリハビリ、食形態の検討、誤嚥しても肺炎を起こしにくくするような対策が必要になる場合があります。

当院では、嚥下障害に対するリハビリにも力を入れています。医師、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、放射線技師などがチームを組んで、嚥下造影検査による嚥下機能の評価、嚥下機能の回復訓練、食形態や食事の工夫、口腔ケアや生活指導を行い、嚥下障害の改善、誤嚥性肺炎の予防を図っています。摂食・嚥下障害看護認定看護師も2名おり、充実した体制をとっております。嚥下障害の評価やリハビリが必要な際は、ぜひ、ご相談ください。

重症心身障がい児(者)の在宅ケアに 関する研修会を開催しました



重症心身障がい児(者)の在宅医療に対する支援研修会の第1回目が11月30日に茨城県立医療大学付属病院で開催しました。在宅の方々が、住み慣れた地域において、安心して生活できるようにするために、ケアやリハビリテーション、教育に関わられる医療・福祉・教育関係者向けの研修会です。医療的ケアについての知識を取得していくことも目指しています。

今回は「重症心身障がい児(者)に関する諸問題」、「筋緊張異常およびその対策」について講義がされました。参加者は108名と多数の方にお集まりいただきました。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、また、看護師や支援学校の教員、社会福祉士、介護福祉士、相談支援専門員など幅広い職種の方が参加されました。今年度は毎月1回、呼吸、ポジショニング、摂食嚥下、遊びなどの課題について研修会が開催される予定です。

この研修会は茨城県立医療大学・付属病院、茨城県地域リハビリテーション推進支援センター、茨城県指定小児リハ推進支援センターが主催し、小児の地域医療、リハビリテーション、福祉等への貢献を目指しております。



←本研修会が茨城新聞で
紹介されました！



茨城県立医療大学付属病院長
(茨城県指定小児リハ推進支援センター長)
岩崎 信明

医療安全管理室からのお知らせ

院内にカーブミラーが設置されました！

医療安全管理室ではインシデント（ヒヤリハット）を分析し予防策を検討することで、安全・安心な医療の提供に努めています。

安全講習会の企画・運営、インシデントの検討、院内巡視、改善活動、マニュアルの見直しなどを行っています。改善活動の一環として、車いす移動や歩行の際に廊下の死角となる場所にカーブミラーを設置しました。これによって、あらかじめ死角をミラーで確認することでより安全に療法や移動が可能となったと考えています。



3Aユニットデイルーム



作業療法室入口前



デイケア入口角



言語聴覚療法室角



茨城県立医療大学付属病院

Ibaraki Prefectural University of Health Sciences Hospital

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733

TEL.029-888-9200(代) ホームページ <http://www.hosp.ipu.ac.jp/>